

小水力発電所建設工事に関するお知らせ

3月より生坂ダム左岸において小水力発電所建設工事が始まりました。今年度は取水口・放水路・発電所建屋・水圧管布設工事に着手します。



地図出典：Google

ご迷惑をおかけいたします

- ・工事期間中は大型車両が走行します。
- ・生坂ダム周辺の村道西520号線において数ヶ月間の通行止めを予定しています。（事前周知いたします）

（株）松本山雅が事務局運営支援を開始

令和8年度4月より、生坂村で推進する脱炭素先行地域づくり事業において、（株）松本山雅が事務局機能の強化と住民参加型の情報発信に対して運営支援を開始しました。地域密着型クラブとして培ってきたネットワーク、広報力、イベント運営力を活かして、村民・事業者・行政が一体となって事業を推進できる環境を整備します。

住民参加型で、事業が“伝わる・動く”脱炭素プロジェクトへ

事務局運営、広報、イベントを三位一体で支援し、村民・事業者・行政が協働する体制を構築します。事業の理解促進と参加意欲の向上を通じ、持続可能な地域づくりに貢献します。



Instagram



WEB



〔発行元〕 生坂村
〔編集〕 株式会社 松本山雅
〔お問い合わせ先〕 役場村づくり推進室
〔電話〕 0263-69-3111



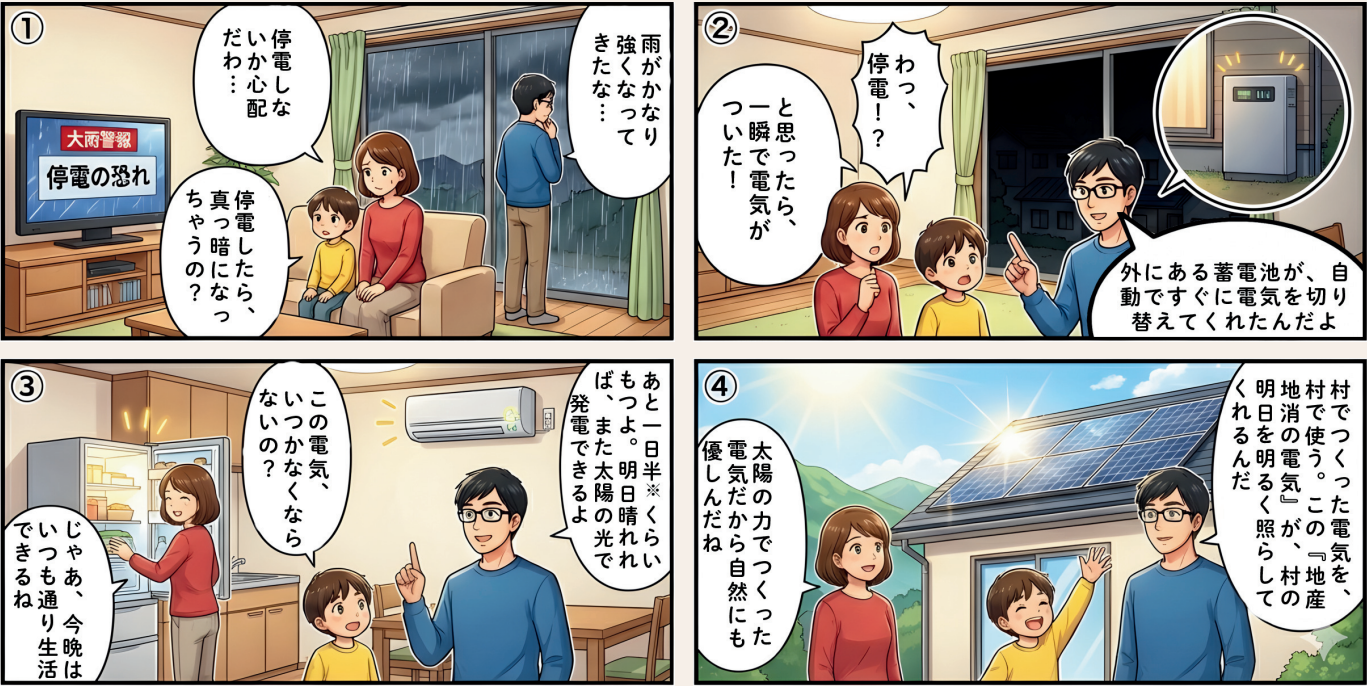
TOPICS

○太陽光パネル・蓄電池の魅力 ○EV充放電器 ○オフサイトPPA
○小水力発電所建設工事に関するお知らせ

Vol.
28
2026 Apr.



太陽光パネル・蓄電池の魅力を紹介します



※蓄電池が満充電の場合

停電時に電気が使えます

蓄電池があれば、停電が起きても平常時と同じように電化製品が使えます。

CO₂削減に貢献します

再生可能エネルギーを使っているので、発電中はCO₂を排出しません。役場の太陽光パネルによるR7.4月～6月のCO₂削減効果は、約53%でした。

毎月の光熱費が削減できます

自宅の屋根等で発電された電気を使う「地産地消の電気」は送電ロスも価格も抑えられます。

参考

- ・生坂村の民家に設置されている蓄電池の容量は14kWh～16kWh
- ・一般家庭の平均的な電力使用量は9.3kWh（1日）
- ・蓄電池が満充電であれば、約40時間（約1日半）はいつも通りの生活が出来る計算です。

PPA事業も着々と進んでいます



いくさかてらすへの加入契約も150件を超え、順調に伸びています。生坂村のカーボンニュートラル達成に向け、PPA事業もよりいっそうの推進を図っていきます。

〔 契約に関すること 〕

お問い合わせ先
株式会社いくさかてらす
Tel 0263-69-2388

令和7年度はEV充放電器（V2H）を3箇所へ設置しました

令和7年度は3地区の公民館へ設置し、これで8地区への設置が完了しました。電気自動車から建物への給電が可能なV2Hは停電避難時の活用が期待される有効な備えになります。



大日向



下生坂



日岐

昭津オフサイトPPAの発電を開始しました



昭津区の遊休地を有効活用した太陽光発電設備（オフサイトPPA）の発電が3月11日から始まりました。



この発電設備で期待できる発電能力は、
一般家庭13～14軒分の電力消費量相当を見込んでいます。

INTERVIEW

大日向の花房さん（表紙写真のご家族）にお話を聞きました。

Q1. 今まで「龍と子」を読まれての感想は？

省エネ事業や断熱改修等、使える事業の導入事例や詳細が載っていて助かりました。

Q2. 村の補助メニューで使いたいものはありますか？

断熱改修補助に関心があります。

